

第一回まちづくり委員会議事録

NO. ー 1

会議日	令和7年5月28日	時間	11時30～13時00分	場所	おおたき総本店
出席者	■ 小宮山 ■ 野口 ■ 小林 ■ 滝澤 ■ 熊谷 ■ 川島 □ 荒井(理)				
	■ 岩原 □ 上條 □ 川上(恵) □ 竹内 □ 斉藤 □ 山本 □ 矢口				
	□ 茅野 ■ 荒井(洋) □ 小澤 □ 堀 □ 堀内 ■ 藤原 ■ 川上(武)				
	□ 大坪 □ 濱島 ■ 窪田 □ 坂本 □ 岡部 □ 大内 計 11名				
議 事					
1 支部長挨拶					
2 自己紹介					
3 今年度の主な予定					
<1> 視察旅行について					
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度建築士会主催で行われた視察旅行を例にバスではなく、電車で行ける場所で検討。 ・都市計画課の他、フォーラムの内容によって、他の課と連携してもいいのではないか。 ・まずはフォーラムの内容を決めていく場所の検討 					
*6月6日に都市政策課に行って、フォーラムと視察旅行について打ち合わせ。					
視察旅行について、積極的に参加する意思は感じられなかった。					
<2> 出前講座					
<ul style="list-style-type: none"> ・4/14に松本ハイランド農協様依頼で開催したことを報告。 ・今のところ依頼はないが、あれば(有)パルティ設計集団 堀内さんをお願いしている。 					
<3> 他団体への協力、派遣					
<ul style="list-style-type: none"> ・松本市歴史的風致維持向上委員会に熊谷副委員長が出席している。 <p style="margin-left: 20px;">内容は年2回の開催で、20～30のプロジェクト経過確認・検討している。</p>					
<4> 令和7年度 第37回 松本市景観シンポジウム・フォーラムについて					
<ul style="list-style-type: none"> ・主催 松本市、(一社)長野県建築士事務所協会松筑支部 まちづくり委員会 ・開催日 令和8年2月7日(土) ・開催場所 あがたの森文化会館講堂 					
フォーラム内容について					
研究・発表テーマ					
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年は多く大型商業施設の撤退により、まちの空洞化を懸念されている中、市は中心市街の再設計を検討をされている。 ・当委員会では松本の中心市街のまちづくりは一昨年にも取組んだ松本の歴史的まち並みを絡めたまちづくり(東町・裏町界隈を題材に空き家・旧繁華街の再生を考える)を継承しつつ、住み暮らす生活が豊かで人が繋がっていくことがまちの景観を保全してことを念頭に置き、松本市の中心市街の問題点である空き家やもしくは空き地利用について研究し提案を市民の皆さまに提供したいと考えた。 					

議 事

空き家・空き地の利用について

- ・松本の中心市街地の魅力の一つ井戸が数多く存在しており、古くは平安時代から人々の暮らしに地下資源の湧き水が生活の一部として利用されてきた。

検証内容

<まちなかの建物と井戸はどんな関係なのか>

- 1.空き家の改修の方法について
- 2.費用面について（補助・助成金含む）
- 3.庭・井戸の重要性は何か

事例：空き地利用 ポケットパーク

町会長自ら土地を買い取り、町会のコミュニケーションの場や井戸の設置など災害時の拠点など、単なる広場ではない場を提供している。

空き地・空き家の利活用について的手段として計画の段階から取材する。

事例：空き家利用

空き家の改修をテーマにして

改修方法、費用、補助・助成金の紹介をする

井戸を掘り、生活用水として利用し災害時では個人所有ではあるが、

例えば、町会に開放できるようにするなどの提案

4.今回空き家・空き地の利活用について講演

- ・講演者の対象：今回ポケットパークの計画に携わった方など

5.松本市中心市街地の空き家・空き地の利活用についてパネルディスカッション

研修旅行先について

研修対象：井戸利用したまちづくり、空き家、空き地の再利用でのまちづくり

行き先候補：郡上八幡、小布施など